2020年8月16日			
差枚	-2300枚 +約21300発	RANK	B

実戦機種

SLOTバジリスク～甲賀忍法帖～Ⅲ、ディスクアップ、SLOTファミリースタジアム
パチスロ黄門ちゃV 女神盛-MEGAMORI-、P戦姫絶唱シンフォギア2　ほか

実戦レポート

自粛期間などの影響もあって記憶があいまいだったが、最後に来た日をざっと振り返ったら、どうやら去年の6月だったらしい。つまり、約1年ぶりに実戦することとなった今回のホール。入場方法は以前と同じく並び順で、整理券配布の10分前ぐらいに店頭へ着くと、先客はすでに50人以上。先頭のほうの方々は当然のように携帯イスなどの並びグッズを持参しており、1時間か2時間か、あるいはそれ以上早くから並んでいたであろうことが伺える。ブランクがあったので多少心配していたが、この時点で「本日の高設定投入率は問題なさそうだな」と安心すると同時に、「でもその候補はほとんど先に取られてしまうだろうな」と苦戦の展開を予感した。

配られた番号通りの56番目に入店すると、やはりAT・ARTコーナーの人気機種・新しめの機種はほぼ全滅。残っているのは一部の少数台機種やノーマルタイプ、バラエティコーナーぐらいか…。ノーマル系は後からでも移動できるかも、ということで朝イチは得意の「SLOTバジリスク～甲賀忍法帖～Ⅲ」からスタートしたものの、周期抽選を早々と連続でハズして、高設定期待度は一気に下落。30分も経たないうちにノーマルタイプを打つしかない状況となってしまった。全台系や末尾の手がかりもまだ少ない中、ディスクアップやファミスタであわよくばのラッキーパンチを狙うも、高設定らしき手応えは全くなし。「交換ギャップなしの営業でディスクアップ打てるだけ儲けもの」という説もあるが、そんなこっちゃS級は取れないんだよォー！と勇気を出して台移動した先は、「パチスロ黄門ちゃまV 女神盛-MEGAMORI-」。好挙動を見せ始めたいくつかの候補末尾の中で、数少ない空き台の一つだったこと、開店から全く回されておらず悪い（低設定っぽい）要素もまだないことが選んだ理由だったが、結果からいうとこれが大失敗。設定差の大きい天井選択率がいきなり最深部を選ばれ、まんまとそこまでハマるという最悪の流れで、まだお昼時だというのに投資は40Kオーバー。そしてようやく全台系の機種が判明し、当りの末尾も一つに絞られた頃には、もう該当する台は簡単には空かない状況が出来上がってしまっていた。

地域によってホールによって差はあるだろうけど、今回みたいな交換ギャップなしのホールは、ありのホールに比べてやはり全体的な平均設定や高設定の数は落ちるハズだし、逆にお客さんの競争率は上がりがち。今からオレが高設定に座れる期待度は、パチンコの「CHANCE」演出よりも低いだろうな…。ということで、もうスロは諦めてパチンコでの挽回を狙ったら、いつもは傷口を広げるこの戦法がまさかの大ヒット。シンフォギア2が自己記録を大幅に更新する27連チャンをぶちかまし、投資55Kを一気に捲る2万発オーバー！　まさにB級の勝ち方でした。